

第 3 回 100 人会議記入シートまとめ（平成 30 年 5 月 13 日実施）

コンセプト（案）：

暮らしに根差すことを前提として、かつ来訪者にも魅力的な場所

コンセプト（案）への意見

- ① GOOD! 良いと思う。
- ② もちろんそうあってほしい。
- ③ 他県の人からも「環境に恵まれている」と言われることも多いので、小湊の良さを生かせる場所ができれば良い。そのため、このコンセプトで良いと思う。
- ④ まずは、地域の人たちのための施設であるべきと考えるので、コンセプト案に賛成。地域の人たちが愛着を持って気軽に利用できる場所であれば存続していけない。
- ⑤ 基本的にコンセプトの方向性に賛成。もっと言えば、地域の日常の暮らしは観光資源にも成り得るもので、融合が図れると思う。地域と域外の人たちの交流の場になれば良いと思う（そこから副次的な産物、可能性が生まれる）。
- ⑥ 鴨川市にはたくさんのビジネスチャンスが眠っている。過去に逃がしたチャンスを列挙し、それらを可能とする施設にすることが最速で成功を達成する道だと思う。
- ⑦ 住みやすい町の心臓づくり、地域に不足しているものを補って新たな活力を得られる場所。
- ⑧ 子ども、高齢者、障がい者のための場所。
- ⑨ 高齢者が生活できる場所（運動器具を置けると良い）。
- ⑩ 便利で気軽に利用できる（立ち寄れる）場所であってほしい。特に高齢者を主なターゲットとして。
- ⑪ 子どもから高齢者までがいきいきと生活できる地域。また、みんなが安全安心に生活できる場所。
- ⑫ 地元の住民が収入や介護の問題に対し安心できる生活が可能になるように、活気ある生活の継続を創造する。
- ⑬ 地元の高齢者と外部・内部からの子供をメインに大きな意味での観光客を迎える場所（スポーツ、ゲームなど）。
- ⑭ 人が交流する場、複合施設（キーワードは健康、福祉、観光、文化、スポーツ）。
- ⑮ スポーツ複合施設（スポーツ合宿の受け入れ等）。多世代交流施設。
- ⑯ 見学できる総合スポーツ合宿所（ボルダリングなど）、食堂、ボランティア事務所。
- ⑰ 来訪者の行動、活動を前提とした施設を作りたい。宿泊機能、運動設備などを付加して。
- ⑱ 地元の産業や雇用が創れて、多くの観光客が訪れる地域でもあるので、建物を活用して複合施設として活用すると良いと思う。
- ⑲ 市場を作る。そうすれば、小湊や鴨川に揚げられた魚を販売、地元の人も観光客も利用できる。また、鴨川市の野菜、フルーツ、その他生産品も扱ったり、特定料理を提供したり、後継者が育ったりもする（漁師はやめられない！）。
- ⑳ 地元の方が作った干物や野菜の直売所&それが食べられる地産地消食堂（人を呼ぶ）、預かり保育と老人の交流場所が融合したコミュニティスペース（地域活性化）。
- ㉑ 道の駅で新鮮な野菜や魚を販売し、地元の人々の生活も支え、観光客にも提供できるような場所という点で、良いと思う。
- ㉒ 小湊地区のターミナルとして、小湊地区外の人々も交流できる空間を作る。
- ㉓ 生活者、来訪者、誰にとってもやさしいまちづくり。

- ②④ 地域に優しく、外からの人を受け入れられるもの。
- ②⑤ 地域の人にとって住みやすいというのが第一。しかし、たくさんの観光資源があるため地域で止めるのはもったいない。どちらも取り入れた複合施設が良い。
- ②⑥ 来訪者に魅力的な場所で、地元にお金が落ちれば良である。
- ②⑦ 良いと思う。地域＝観光で循環できるコンセプトだと思う。
- ②⑧ 地元、他所の人、どちらの人も集まる場にしたい。
- ②⑨ 小湊発信の場所。
- ③⑩ 鴨川を知らない人が来てみたい場所にしたい。
- ③⑪ 「小湊ブランド」…里山、田畑、川から里海に繋がる小湊活性化プロジェクト。
- ③⑫ 常に根差している文化や歴史、イメージなども利用すると、地域ブランドとして成り立たせられる。住民のプライドも尊重されるし、来訪者にとっても「そこにしかないもの」はとても魅力的に感じる。
- ③⑬ 土地の伝説を知っていて経験や知識のある高齢者に参加して頂き、未来に向けて人も環境も活かせる場所。
- ③⑭ 小湊の歴史（誕生寺）をもっとアピールできるようにする。
- ③⑮ 私のできることは、ボランティアのガイドをしたいと思う。そして、魅力的なガイドで、観光人口を増やしたい。
- ③⑯ 民間が運営して、みんなでボランティアで店を出して、人が集まるようにできないか。
- ③⑰ 千葉県全体に言えることかもしれないが、千葉は産業・資源はあるのにセンスの悪さが目立つ。たぶん、モノでの勝負はできるので、市民のセンスアップと文化レベルを高める必要がある。
- ③⑱ 暮らしに根差す→地域が元気で暮らしやすい場所。来訪者にも魅力的→また来たくなる。住んでみたくなる場所。それぞれが別のもののような感じで、つながりにくい。

鴨川市 100 人会議 第 2, 3 回記入シートまとめ

1. 小湊、鴨川市の人にむけた場 (32+8=40)

- 1-1 地域の子供、高齢者、障がい者のための場 (22+8=30)
- 1-2 地域の人が集える場 (6)
- 1-3 地域の人のお買い物の場 (3)
- 1-4 防災について学べる場 (1)

2. 主に鴨川市外の人にむけた場 (20+5=25)

- 2-1 環境を活かした合宿ができる場 (9+4=13)
- 2-2 他の地域から人が集まる場 (7)
- 2-3 鴨川の魅力を発信する場 (3)
- 2-4 住むための場 (1+1=2)

3. 両方の人にむけた場 (22+48=70)

- 3-1 地元の人でも外の人でも訪れたいくなる場 (8+30=38)
- 3-2 地元の産品を購入できる場 (7+10=17)
- 3-3 日蓮上人の聖地という認識を広める場 (3+4=7)
- 3-4 地域の産品を生産、加工する場 (2)
- 3-5 地域の文化を体験する場 (1)
- 3-6 地場産業に就くための教育の場 (1+3=4)
- その他 (1)

主なコメントと活用アイデア

1. 小湊、鴨川市の人にむけた場

1-1 地域の子供、高齢者、障がい者のための場

主なコメント	活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者と子供や若者が触れ合えることによって相互に良い影響が出せる。 ● 今ある校舎や校庭等をできるだけ活かしてスポーツやアスレチック施設など、地域の子供や高齢者が集まる場所。 ● スポーツをきっかけとした子供から高齢者までの憩いの場。 ● 知恵の継承のため、高齢者と子供が会合できる場。 ● 地域自然資源を活用し、従来のイメージの施設ではなく、現代的な課題と共に楽しみながら作っていく。 	「シェア金沢」 スポーツ施設 アスレチック 多世代カフェ
<ul style="list-style-type: none"> ● 障がいのある子供やお年寄りが機能訓練できるような施設。 ● 近くで受診できると便利なので、週1回程度診療所や薬局が出張で来ると良い。 ● 共生社会の象徴となる施設を作ることによってひとにやさしい町のイメージを作りたい。 ● 高齢者の憩いの場や、運動設備等を備える事により、健康増進を図り、医療費減少につながる。 ● 民間に売却し、特別養護老人ホームとして活用してもらう。 	リハビリセンター 出張診療所 薬局 軽度の障がい者、高齢者（要支援2位まで）、支援者や商業者のいる複合施設 特別養護老人ホーム
<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちが夏休みなどに、自由に出入りでき、一緒に勉強できる場が欲しい。 ● 子供の遊ぶ場所が少ない 	学童保育所 子育て支援センター
それぞれの主体でできることすべきこと	
個人として	ボランティアとして、清掃や片付けなどできることを行う
地域として	各週、各月の催しの考案（紙芝居、昔話、読み聞かせ、お年寄りに教えてもらう昔の遊びなど）
行政の役割	

1-2 地域の人が集える場

主なコメント	活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● カフェやちょっと集まる場所が全くないのであったら嬉しいです。 ● 買い物、コミュニティー、交流の場が必要なのかな…、観光客向けと地域向けとちょっと感覚が違うかな…。 ● 地域の人が集まる小さな拠点化。 	カフェ オンライン診療所 行政相談窓口 買い物できる場
<ul style="list-style-type: none"> ● U、I ターンの人がパソコンを使って、仕事ができる場所があると良い。 ● 駅が近い事を利用すれば英会話教室やピアノ教室を開講しても周辺地域の人が来やすい。 	ワーキングスペース

1-3 地域の人のお買物の場

主なコメント	活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 今小湊地区は買い物する場所がコンビニ以外はほとんどなくなってしまった。 ● 高齢者が増えたが、青果店等は無くなり、買い物が困難。 	買い物施設 直売所

1-4 防災について学べる場

主なコメント	活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 防災避難タワーがあるので防災の事について学べる場所として利用するのも良いと思います。 	防災学習の場

2. 主に鴨川市外の人にむけた場

2-1 環境を活かした合宿ができる場

主なコメント	活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 他校に比べ、グラウンドが広い。体育館だけではなく、だいぶ古くなっているが屋外プールもあり、スポーツ館二階はバスケットボール一面くらいの広さが確保できる。柔剣道場もあり、スポーツ団体の利用に適している。 ● 体育館、グラウンド等、ムダにならないように活用したい。 ● 穏やかな気候、きれいな海、砂浜を活かしてスポーツに没頭してもらおう。 ● 広いグラウンド、山、海があり、自然に恵まれている。都会からも2時間くらいなので学生の合宿所として活用できる。 	スポーツ団体向けの合宿所 セミナーハウス

2-2 他の地域から人が集まる場

主なコメント	活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 漁業・農業など体験型プログラムを作り、それに伴う宿泊施設として利用する。 ● 若い人が別荘の代わりに泊まれるところ。 ● 安く泊まれる場所があれば、鴨川シーワールドに来る家族に泊まってもらえる。 ● 天津小湊ビレッジを徹底的に子供や家族連れのエリアにする（自然、ジオ、海遊び、廃校も）。 	宿泊施設
<ul style="list-style-type: none"> ● 他の地域からイベントを開催してもらえるような場。 ● 大山小は里山オフィスなので、小湊小は里海オフィスとして活用する。 	イベントスペース 貸オフィス

2-3 鴨川の魅力を発信する場

主なコメント	活用アイデア
<ul style="list-style-type: none">● 日蓮宗・パワースポット担当、漁業・海水浴担当、宿泊・食事施設担当など跡地でデスクを作り、常駐するようにする等、関わっていくためのアイデアを考えて実行したい。● リタイアした住民が多いので、ボランティアやパートとして雇い、体験の案内人をする。● 飽きさせない鴨川をアピールし、リピーターを獲得する。	観光案内所 観光体験ミュージアム

2-4 住むための場

主なコメント	活用アイデア
<ul style="list-style-type: none">● 人口を増やすために、教室を改装してアパートにする。	アパート

3. 両方の人にむけた場

3-1 地元の人も外の人も訪れたいくなる場

主なコメント	活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 地元と外の人々のコミュニケーションが生まれる場所。二次的に収入が発生すればなお良い。 ● スポーツ、文化機能を中心とした多機能複合施設。地域創生のターミナル。 ● 障がい者、高齢者、店、観光案内所が利用できる複合（多目的）施設。 ● 誰もが好きだから温泉を中心とした複合施設とする。 	カフェ 貸オフィス アトリエ 温泉 スポーツ、文化施設 観光案内所 物産展 宿泊施設 学童保育所 スモールビジネスの拠点 図書室 介護施設 eスポーツやドローン練習場
それぞれの主体でできることすべきこと	
個人として	対外的なPRをする 学童やレストラン、図書室などでボランティアスタッフとして働く
地域として	テナント出店できる方の募集、協力 住民の意見の集約 語り部さん 組織化し、主体として活用（運営）する 地元の高齢者と外部の子供をマッチングする
行政の役割	施設のリノベーション 学術調査 マネジメント 接道などの問題の改善 地域のサポート リーダーとなる人を選出する

3-2 地元の産品を購入、食事できる場

主なコメント		活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 地元でとれた魚を売ること、観光客が来るようになり、町がにぎやかになる。地元の業者さんにお金が回る。 ● 農・水産物の販売、巡回バスやレンタサイクル等で史跡巡りの案内をすることで、観光と地元の人のお買い物場を両立する。 ● 地域の人を中心に人が集まる場所づくり。 ● 小湊の人たちが食べている物、住民が作っている産品の直売所など、ここでしか買えない物の提供をして住民と観光客が来られる場所を作る。 ● メニューは少なくても良いので、地元の野菜、魚を使った料理を出す場。 		道の駅 直売所 ショッピングモール
それぞれの主体でできることすべきこと		
個人として	魚をさばく 買い物をする 利用者増加のPR 自ら出店する	
地域として	水揚げ、収穫された産物を卸す 農業、商業、漁業者は積極的に参加する 季節にあわせたメニューの考案	
行政の役割	建物の整備および進入路の確保 販売促進、宣伝	

3-3 日蓮上人の聖地という認識を広める場

主なコメント		活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 有名にするために作るというより、日蓮上人を皆に知ってもらっておもしろさを知ってもらう。 ● 日蓮上人の生家を再現する事で聖地という認識を広める。 		日蓮上人の資料館、シアター 日蓮上人の語り部の養成 ARを活用し、地点ごとに映像を見られるようにする 日蓮上人ご生誕3奇譚をテーマとした学習風呂 子供たちの校外学習の場 鯛が泳ぐトイレ、日蓮上人のお経が聞けるトイレ
それぞれの主体でできることすべきこと		
個人として	当院縁起などの監修、説明ボランティア	
地域として	地点の詳細情報の提供、アドバイス	
行政の役割	制作業者への依頼など 温泉を掘る 宣伝をする	

3-4 地域の産品を生産、加工する場

主なコメント		活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 地場産業活性化を図り、産業が出来る可能性があり若い人の労働環境が増えるのではないか。 		産官学連携の漁業開発センター 魚の養殖場

3-5 地域の文化を体験する場

主なコメント		活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の食文化、民芸などの体験の場と加工による六次産業の中心となる場。 		ハンズオンミュージアム 歴史を学べる場 自然体験や漁具作りができる場
それぞれの主体でできることすべきこと		
個人として	SNSで広める	
地域として	ポスター、チラシなどで宣伝する	
行政の役割		

3-6 地場産業に就くための教育の場

主なコメント		活用アイデア
<ul style="list-style-type: none"> ● 若者離れを防止し、技術の継承をするための例えば「宮大工」や「漁師」等の専門分野に特化した教育の場。 		教育の場

その他

- **循環バスを走らせる**